



テーマ：旧県立福岡高校跡地の利活用

～ 誇れる我がふるさと・ふじみ野 ～

**住み続けたい街、心の故郷
世代を超え、選ばれる街
市民一人一人が誇れる街**

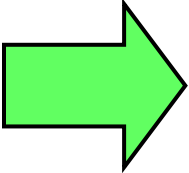


ふじみ野市未来政策研究会(スクラムINふじみ野)

平成26年3月16日

ふじみ野未来政策研究会とは・・・

旧福岡高校跡地を最大限に利用した「子育て・健康・医療・介護・福祉」等の複合的な活用

「市民目線での提案」  P(公共:パブリック)
P(私人:プライベート)
P(パートナーシップ)

「公共施設再編」

「旧福岡高校跡地活用」

「子供・子育て・教育」

「市民が解決する仕組み」

をテーマにグループに分かれ、研究検討を行った。

今日の発表のあらまし

- 1 ふじみ野市の現状
- 2 市民の市政参加
- 3 合併後の市内公共施設の現状
- 4 福岡高校の現状について
- 5 具体的な福岡高校跡地の活用案

1₋₁ ふじみ野市の現状

- 人口増加
- 高齢化(社会保障関連費の増大)
- 少子化(生産年齢人口減少)
- 合併算定替え終了(H33~)
- 公共施設の老朽化
- 活発な市民活動

約150の市民活動団体(カルチャー団体、町内会・自治会、PTAなど)

2-1 ふじみ野市の市民参加の概要

- 市役所、市長への直接提言

公開事業評価、パブリックコメント、「市政への提案」(アンケート)「タウンミーティング」「ふれあい座談会」

- 市民活動支援センター

- 市民のまなび

ことぶき大学、もくせい大学、子ども大学ふじみ野、まちづくり・まちおこし大学、市民カレッジふじみ野

- 市民の交流

七夕まつり、おおい祭り、市民活動交流会、その他地域イベント

- 自治基本条例

- 現在パブリックコメント実施中

2-2 新時代の公民パートナーシップ

- 市民が**主体的に連携**し課題解決に取り組んでいく仕組みを構築することで、ふじみ野市の市民参加によるまちづくりを推進する。
- そのためには、**市民が自ら参加**し様々な課題を学びあう場でなければならない。
- 様々な交流や人的ネットワークを通じて、個々の知識や能力を高め、ワーキングチームの立ち上げ等によるコミュニティづくり等、自発的に取り組む姿勢を身につけ、学ぶ為の場づくり、活動を活発化する為の人的育成等を含めた制度づくりが必要

※具体的な内容は、Fチームの掲示をご覧ください。

3-1 合併後の市内公共施設の現状

- 合併により同機能公共施設が重複
(例) 分立する資料館、図書館、体育館、公民館(分館)
- 高度経済成長期～バブル期に建てられた施設の老朽化(全国的な現象「一斉建替時代」)
- そのままの建て替えのための費用を工面できない財政状況

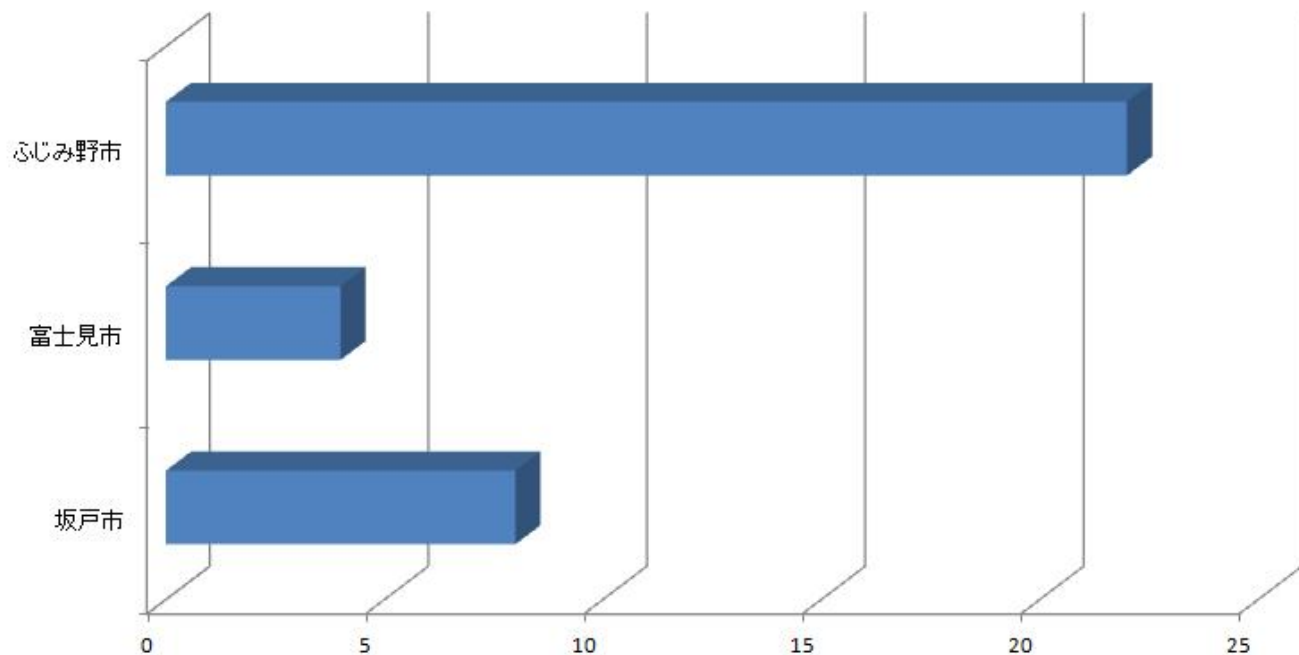
公共施設の再編が必要不可欠

3-2 公共施設再編の必要性

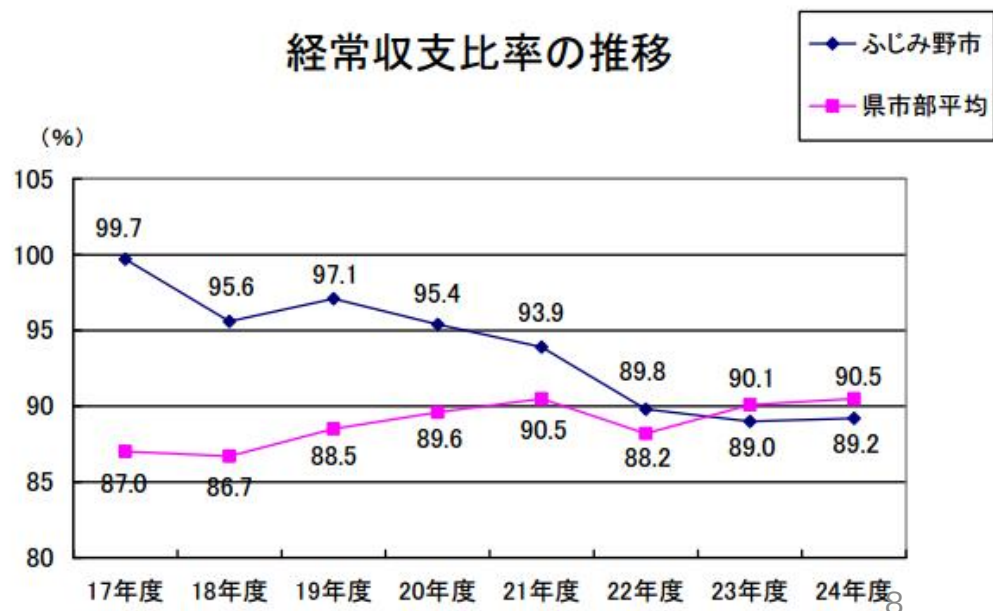
- 公共施設再編のコンセプト
 - ① 将来的な公共施設維持費の削減
「子供たちが住み続けられる市へ」
 - ② 合併による重複施設等の最適化
「10万人規模の街づくり」
 - ③ 市民目線での危機感をもった再編提案
「現実を見据えた行政と市民の協働、連携」

※具体的な提案は、Aチームの掲示をご覧ください。

同人口レベル自治体の公民館(分館含む)の数の比較



経常収支比率の推移

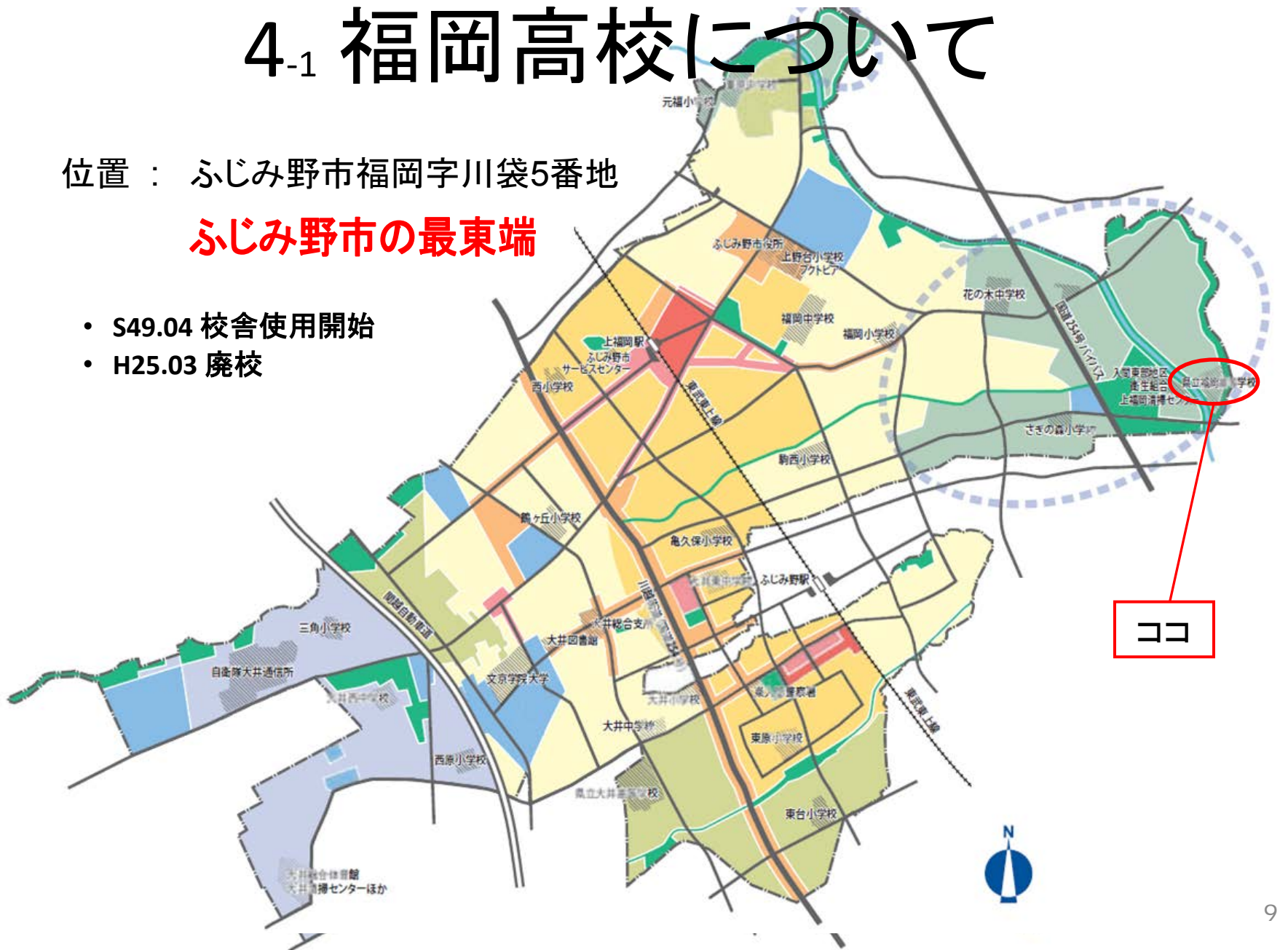


4-1 福岡高校について

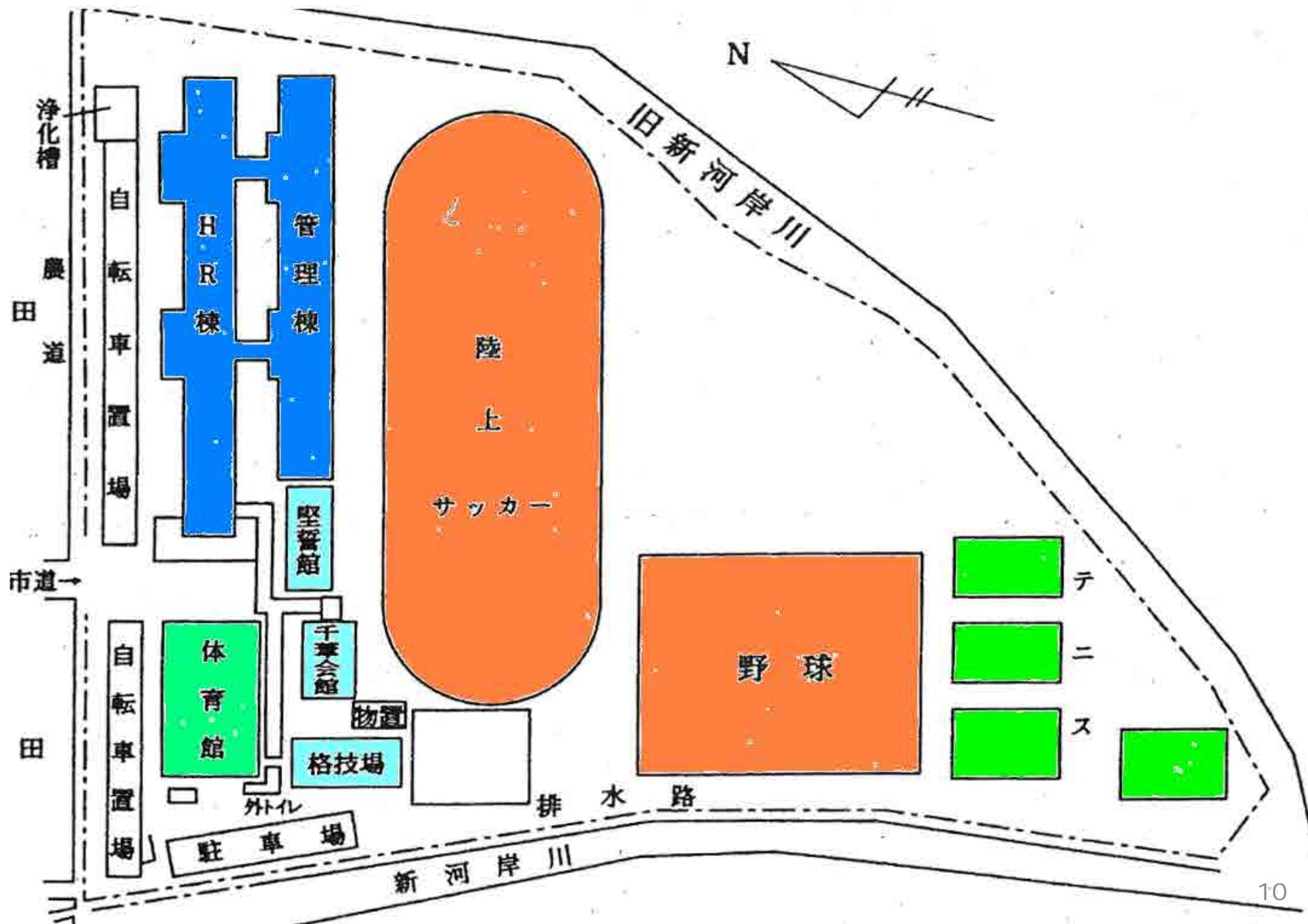
位置： ふじみ野市福岡字川袋5番地

ふじみ野市の最東端

- S49.04 校舎使用開始
- H25.03 廃校



4-2 全体図



5 福岡高校跡地活用の提案

①利活用前の検証(リスクアセスメント)

②費用

③具体的な提案のコンセプト

- 喜ばれる事業
- 困っていることの解決となる事業
- 誰もが参加でき、参加したくなる事業
- 採算性も考慮した事業
- 障がいをもつ人やお年寄りの支援につながる事業
- 未来志向で創造的な事業
- 民業を圧迫しない事業
- 利用する人が少し負担したくなる事業

5-1 利活用前検証

災害・公害に対する安全性の確認(リスク)

地震
洪水
津波遡上
土壌汚染

・埼玉県が耐震化対策施行完了
・ハザードマップ、気象情報、県HP
地盤情報、近隣地質調査データの確
認
→ 安全性を確認

業務継続不能リスク

建物と設備

・内外装補修整備(メンテナンス、リフォーム)
追加耐震化対策(格技場、千葦会館、堅誓館)
教室の特色活用可能(視聴覚室、調理室等)
体育館等の活用可能(バスケット、バレー、卓球)
・給排水、電気、空調、エレベーター、厨房設備
・総点検、入替更新とメンテナンス

5.2 校舎・校庭の維持管理費など

- 1164.9万円/年(人件費除く)
- 福岡高校を引き受けるということは↑の負担を引き受けるということ。
- 解体費用も負担するということ。
- 財政的に単純な引き受けは容認できない。
- 用地・校舎の所有権移転を伴う場合は、10億円以上の費用がかかると見られる。それに見合うメリットがなければ、引き受けないという選択肢もある。

費用捻出方法①

・市内公共施設の「**発展的統廃合**」

①駒林体育館管理の移管 (△1000万円/年)

②上福岡歴史民俗資料館の移転 (631 m², △260万円/年)

③大井郷土資料館 (818 m², △110万円)

※ 校舎管理棟(3384 m²) HR棟(4,811m²)

浮いた費用の一部で跡地の**維持管理**を行う。

費用捻出方法②

④旧大井給食センター跡地(2860m²)の売却

⇒ 3億4660万円程度の売却益

⑤旧第二学校給食調理場(970m²)敷地の売却

⇒ 8800万円程度の売却益

⑥上福岡歴史民俗資料館移転後の敷地売却

⇒ 1億2420万円程度の売却益

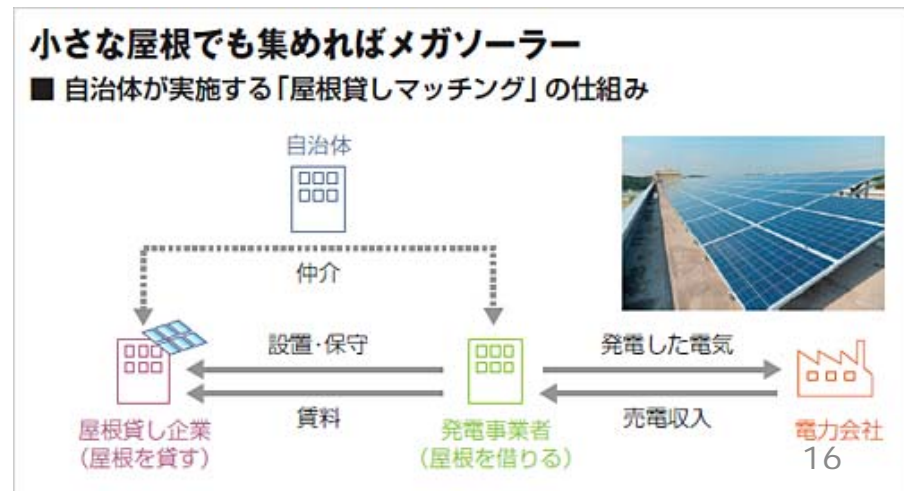
売却益で当初の跡地**整備**を行う。

市の中心部にある「空き家(地)」を魅力的な施設に

※ ④は坪単価40万円、⑤は30万円、⑥は65万円での試算(除却費込みでの試算)

費用捻出方法③

- **屋上賃貸太陽光発電事業**(参考:埼玉県屋根貸し太陽光発電事業)
- ネーミングライツ売却
- クラウドファンディング
- 企業からの協賛金(物)
- 利用料徴収
- 国の補助金、助成金の活用
- 宝くじ協会等の助成金
- 壁面広告
- 起債(解体費用の手当)

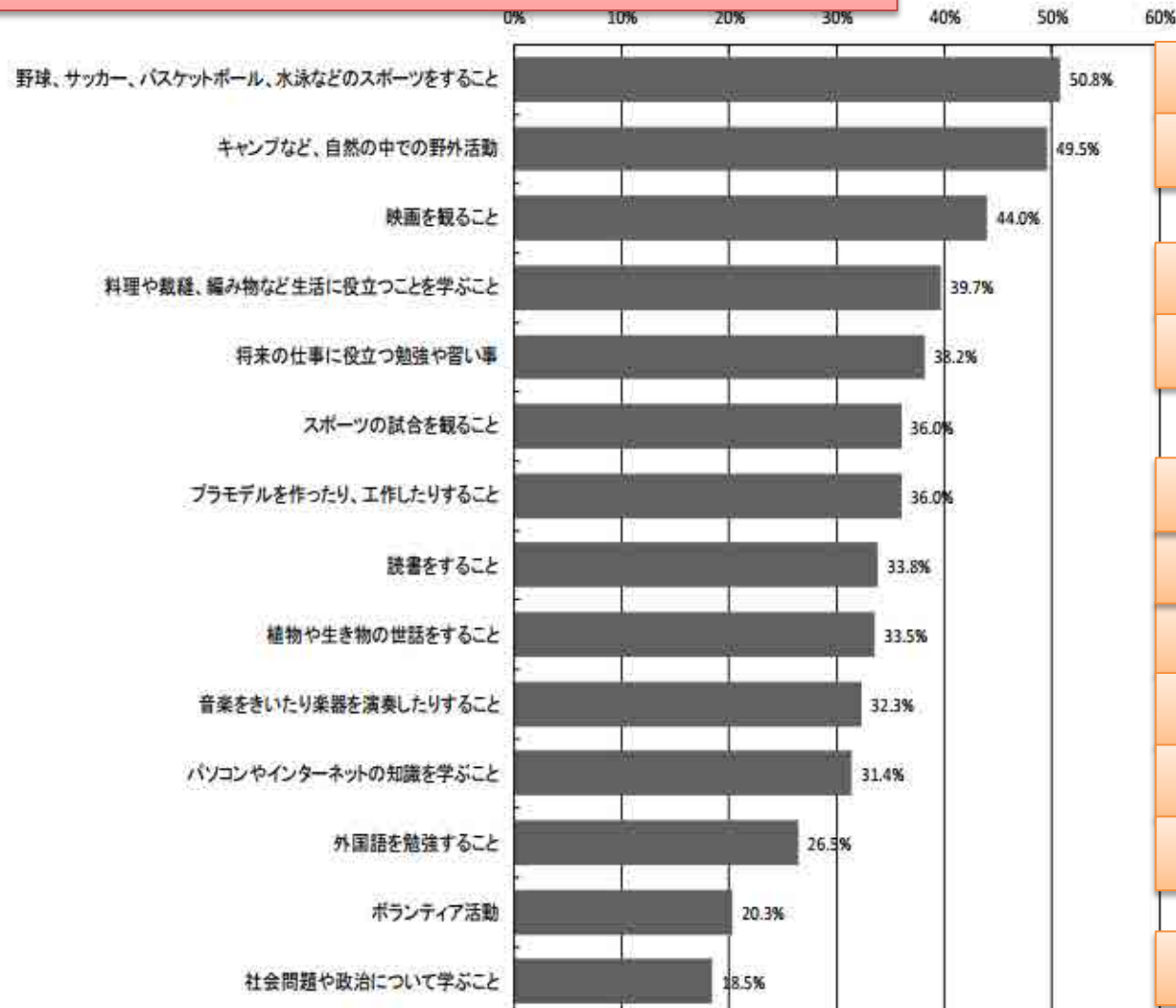


市民意識調査 小学生対象アンケート調査

調査期間：H24/6

子どもたちが欲しいと考えている施設(P55)

(〇はいくつでも)



→ グランド(サッカーなど)

→ グランド(課外活動)

→ 料理教室

→ 学習教室

→ 体験型学習室

→ 3世代交流スペース

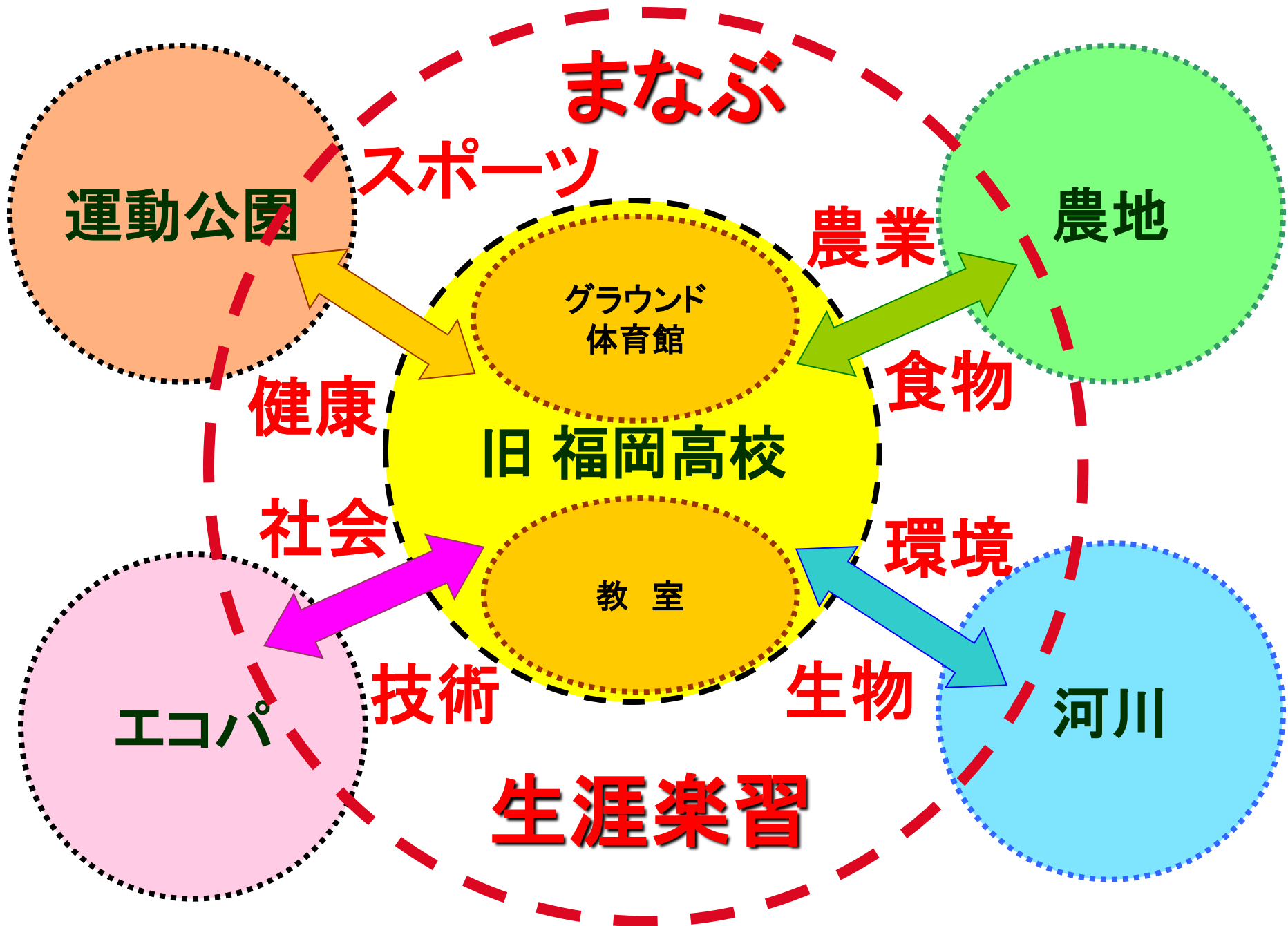
→ 室内庭園、中庭

→ 音楽教室

→ PC教室

→ 語学教室

→ 学習教室



5-3 私たちは福岡高校跡地を次のように活用することを提案します。

ふじみんの郷

- 1 スポーツ施設
- 2 親水公園
- 3 保育施設
- 4 市民活動センター
- 5 ふじみ野市現在・過去・未来館



⇒ **ビオトープと雑木林の公園**

国土交通省「かわまちづくり」支援制度を活用し、旧新河岸川と旧福岡高校を近接化。

- ・ 校庭の外縁部⇒ビオトープと雑木林のある**清涼な**広場
- ・ 生物群集が生息できる自然環境を整え、**自然に触れ親しみ**、動植物を観察できる広場とする。
- ・ 小さな子どもや孫連れのお年寄りが遊べるような**徒渉池**など親水ゾーンを整備。
- ・ 子どもの運動に**フィールドアスレチック**を整備。
- ・ 散歩やBBQも行える(^o^)

地産地消

煉瓦で作ったバーベキュー炉！

畑で採れた野菜を楽しむ。

バーベキュー炉は1基当たり20万円～。



※バーベキュー炉は1,000円でレンタルする。予約やその他必要な食材もネットで購入できるように、ネット環境を整備する。

校庭中央 ⇒ 天然芝のフットサル場

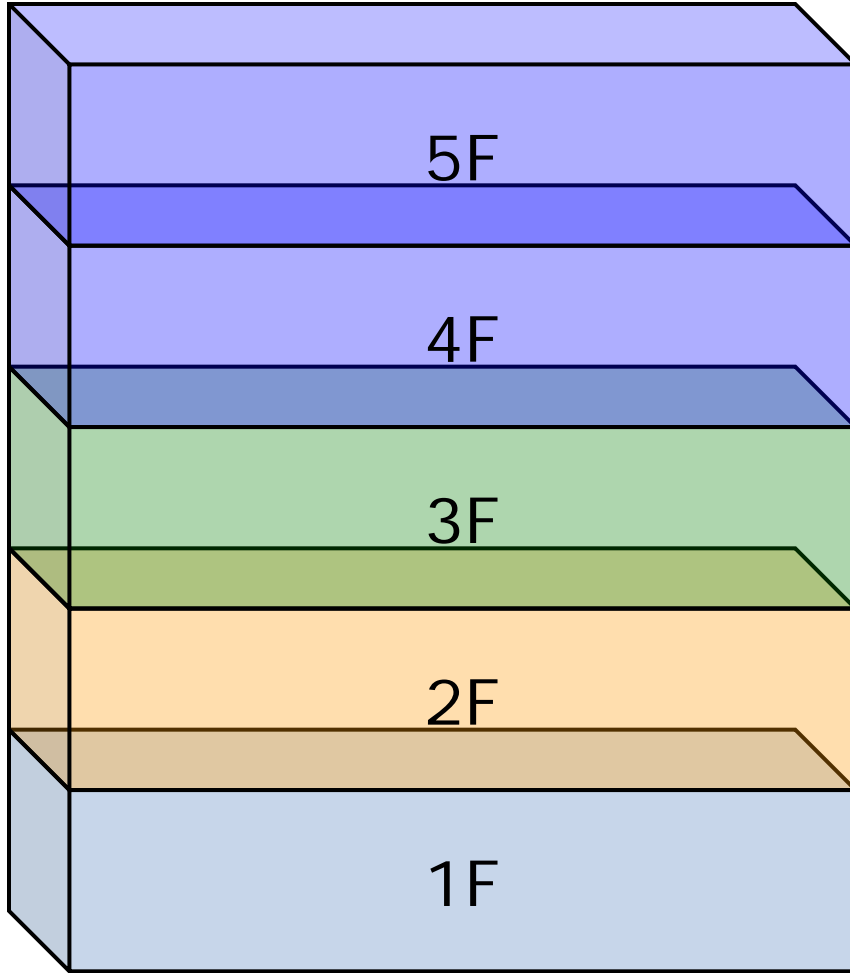
財団法人都市緑化技術開発機構の助成を得て、校庭を芝生化し、魅力的な天然芝のフットサル競技場を8面設置。

有料(安価)で貸出し、収益事業の核とする。

※フットサルとは・・・若者に人気のサッカーに似た競技。サッカーは11人だがフットサルは5人。

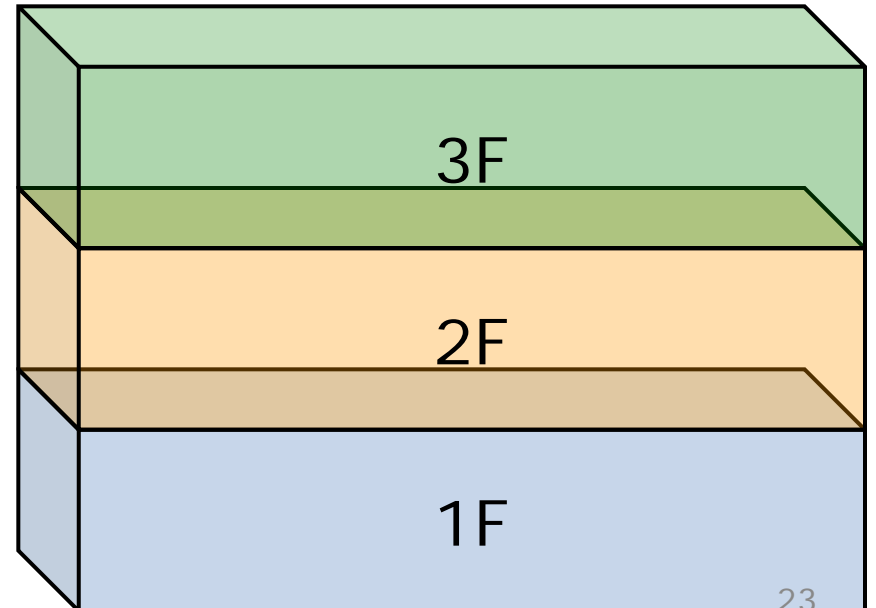


校舎の活用

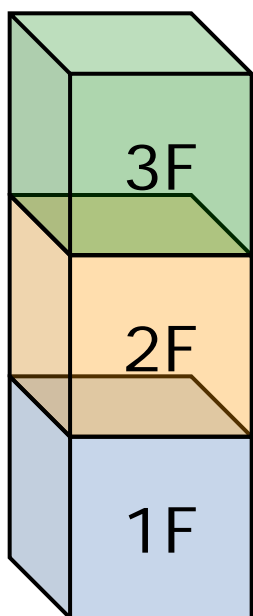


HR棟

管理棟



管理棟



乳幼児子育て支援ゾーン

- 病後(回復期)児童・待機児童の一時預かり施設
- 夜間(22時まで)・休日の一時預かり施設
- 近隣都市にはまだない施設を

ふじみ野市で先駆けて実現！

- 待機児童、潜在的待機児童の解消
- 病後回復期児童の看病支援
- 夜間帯や休日に預けられる場所を増やす
- これにより、

子育てしながら

働きやすい環境 を整える。

玄関



■ 受入想定病後回復期児童数

10名程度(保育士3名・看護師1名)

■ 受入想定待機児童数

0歳児……………12人(保育士3名)

1~2歳児…18人(保育士3名)

3~5歳児…20人(保育士1名)

■ 想定利用料金

入会金20,000円

月額会費 4,500円

月1回利用可

(同月2回から別料金)

NPO法人フローレンスの場合

安静室はカーテン等で仕切り、10区画
(1区画1500×2000程度)



写真はイメージです

室内園庭



隔離室は個室とし、3～5室
(1室2000×2000程度)



子育てサロン

0～2歳児保育室



写真はイメージです

食事室(旧調理実習室)は広いので、児童の使用しない時間は、ラウンジ喫茶室として開放利用できたらよい

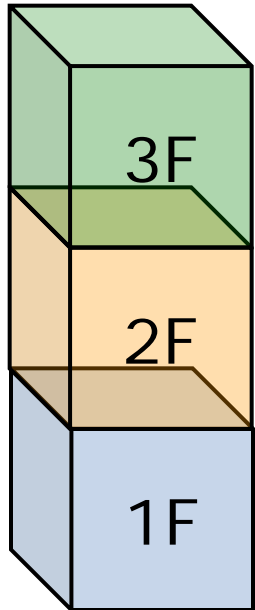
3～5歳児保育室



管理棟

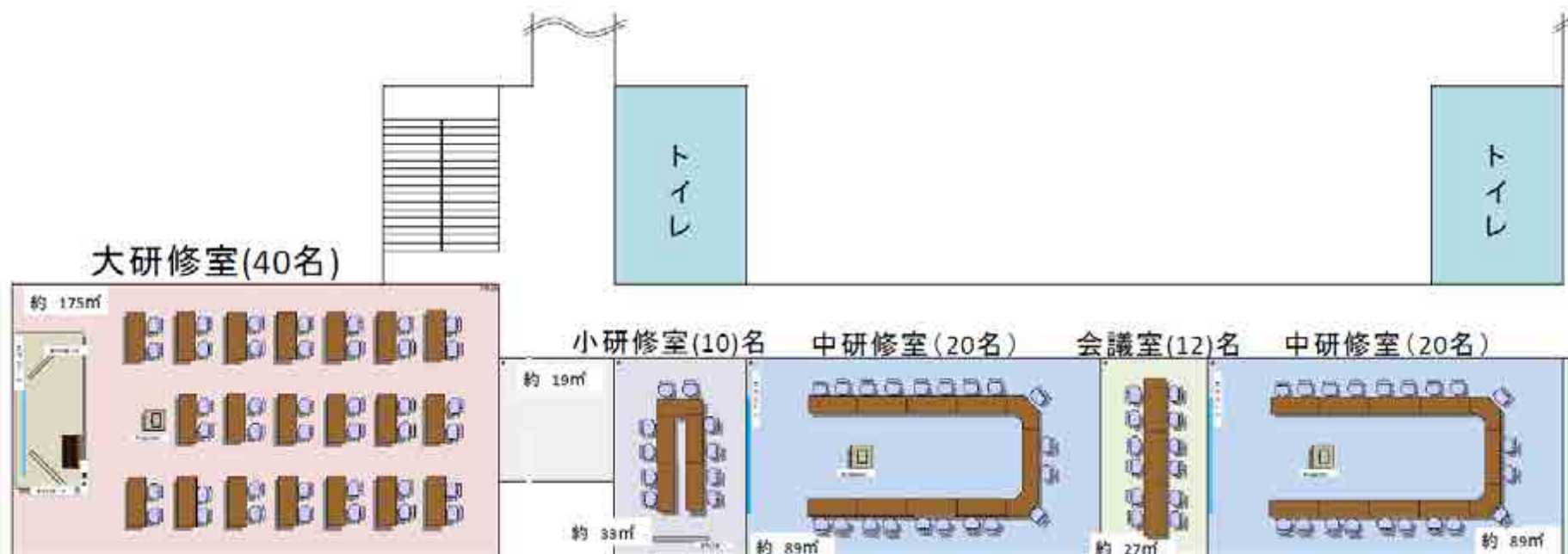
まなびゾーン

- 近隣の人口10万人を超える市の中で、学校の先生を教育するための研修センターが無いのは、ふじみ野市だけ。



- **研修施設**を用意。教職員の能力向上を図る。
- 稼働率を上げるため、民間にも貸し出す
- 企業の新人教育、研修、会議室
- ネット予約を可能に！民間利用は利用料徴収



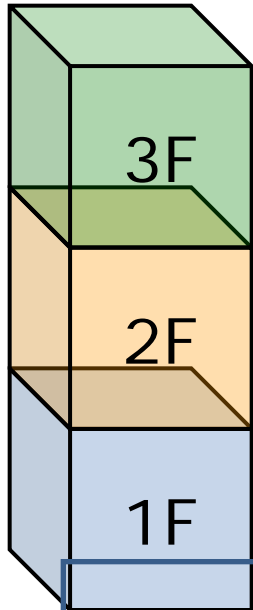


- 大研修室(40名)・中研修室(20名)×2・小研修室(10)×2

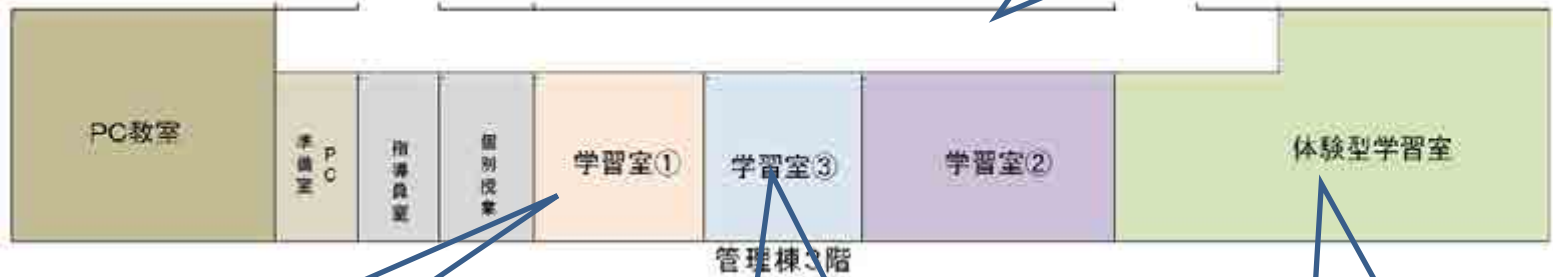
同時に100名程度の研修が可能

- 将来的には、ふじみ野市民大学の開講も検討する。

管理棟 まなびゾーン



運動系
ヨガ
体操
フラダンス
HIPHOP



文化系 書道
アロマ ネイル
昼間:生涯学習
夕方:塾(寺子屋)





■ 子育てサロン

- 子供も一緒に入れる。相談ごと、友達作り、児童虐待や子育て全般の講習会
- 利用者1回1日100円(20歳以上)
- 今までにない室内施設、自由に遊べる場所(就学前保護者とその子ども)



■ 一時利用保育所

- 他所と比較しても破格の価格設定 → まずは来てもらいたい、利用してもらいたい付帯施設を安心して利用するための預かり所を想定

■ 料理教室

- 今日の夕飯のレシピ、男の料理、季節のお料理コース、パーティー料理コース
- 1回約2時間で5000円(定員5名まで) 1日3回コース
- 先生は経験のある有名な経歴の方を呼ぶ





■ パソコン教室

- 日中は中高年向け、夕方からは子供向け
- ワード、エクセル教室など。初級、中級、上級
- 1回2時間(10時～、13時～、16時～、19時～の1日4回)

■ 語学教室

- 英語だけではなくフランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、中国語
しっかりした講師による、質の高い語学教室
- 週1回～開催、受講者の希望に応じて、フレキシブルに対応

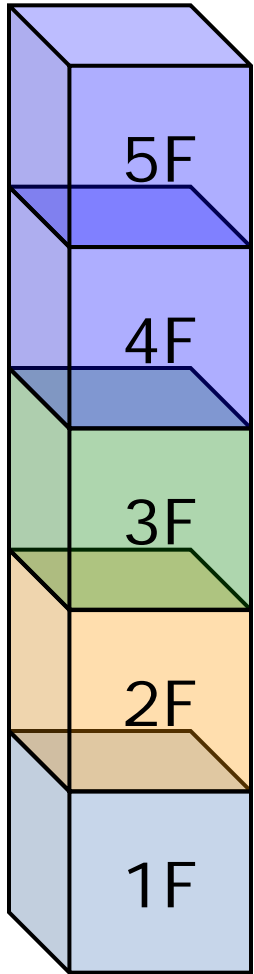


■ その他学習教室

- 時間帯により、語学教室は塾などに利用
- 机イス不要(例:HIPHOP)、道具必要(工作)等あり、各部屋設置
- しっかりした講師による指導、質の高い教室と価格設定(内容による、詳細別)



HR棟

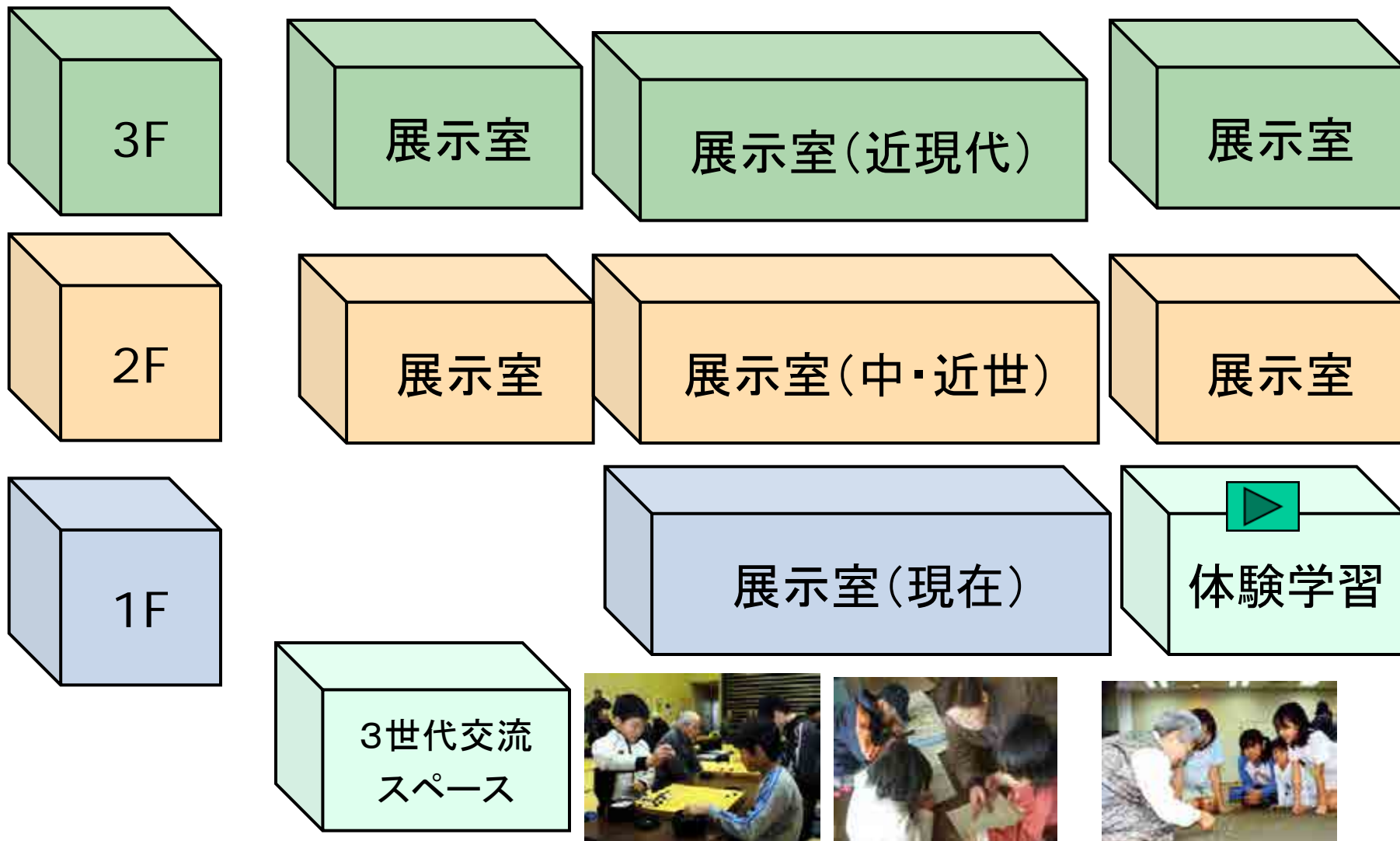


ふじみ野市 現在・過去・未来館

ここにすれば『ふじみ野市のすべてがわかる』をコンセプトに
ふじみ野市 現在・過去・未来館として、ふじみ野市の現状、
未来予測、大井町と上福岡市の歴史を学べるものとする。

分立する大井と上福岡の資料館の統合は、真の意味で
の上福岡市と大井町の合併

スポーツをしにきた人たちも、ふじみ野の歴史、民俗、文
化にも触れることのできるよう、郷土資料館と民俗資料館
を発展的に統合したふじみ野博物館として活用。ここ1箇
所で大井町と上福岡市の歴史を学べるものとなる。



■ 3世代交流スペース

- 大人も子供も自由に使える団らんの場所 → 簡単なコーヒー、軽食が利用できる
- 市内の方で、当日施設利用の方はドリンク1杯無料
- 19時～22時まで、20歳以上30分100円、1時間200円、持ち込み自由

体験学習・・・なぜ？ どうして？ やってみよう。考えてみよう。



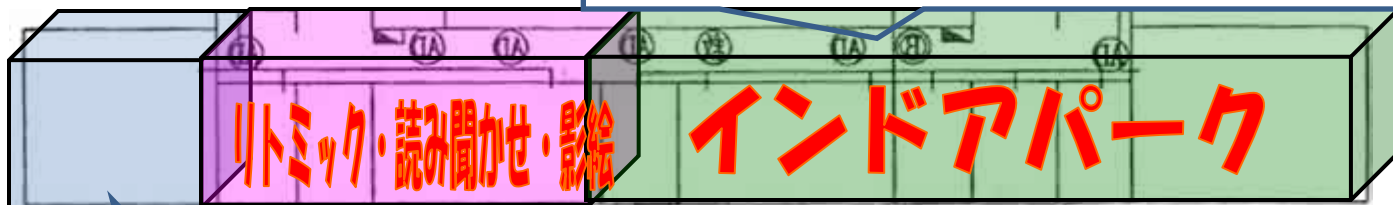
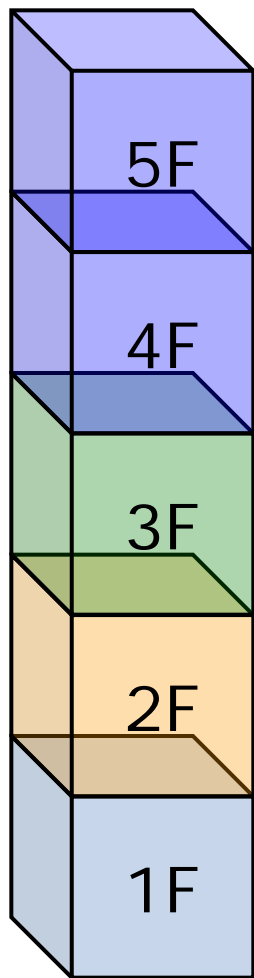
- ・展示資料を見て
昔を想像してみよう
- ・火を、器を作ってみよう
- ・昔の道具を使ってみよう



今の生活を調べて
明日を考えてみよう



こども未来ゾーン



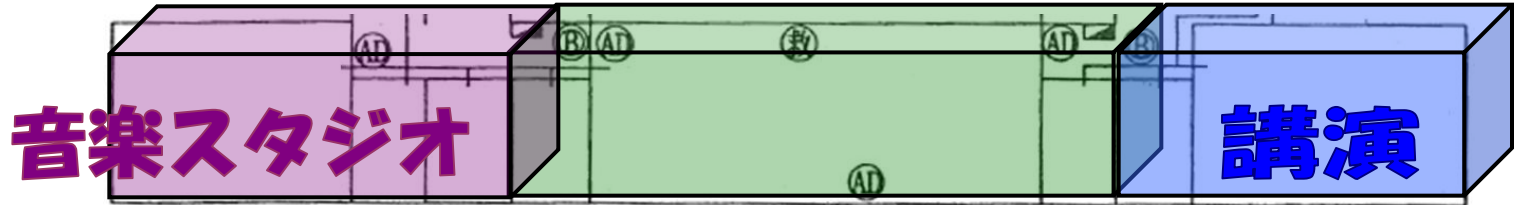
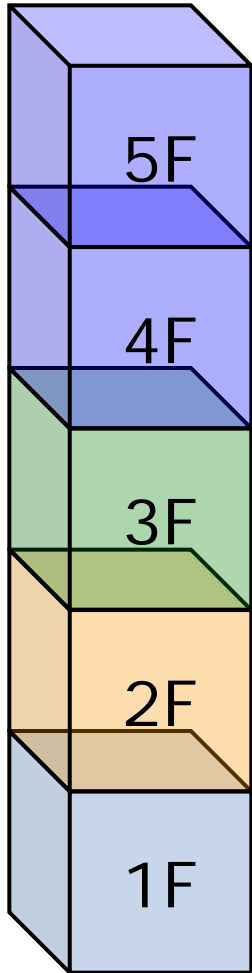
ママのリフレッシュ&美容



文化芸術ゾーン

特産物の復活

伝統工芸 おおい箒づくり



バンド(ドラム・エレキギター)や
和太鼓の練習
→郊外ならではの
(騒音を気にせずできる)

- ◆ 講師を中心とした体験教室
- ◆ さまざまな箒の作成 & 販売
⇒ 祭りでの出展
⇒ インターネット販売
↓
・ 伝統工芸の継承
・ 生涯学習の場
・ 世代を超えた交流



体育館

⇒ 第2市民体育館として利用

利用料金:ふじみ野市民は安価(平日は無料)

堅誓館・千葦会館の活用

- 団体利用者のために、クラブハウス(控室、用具置き場、シャワールーム等)として整備します。
- 食堂は、地産地消型創作カフェとします。

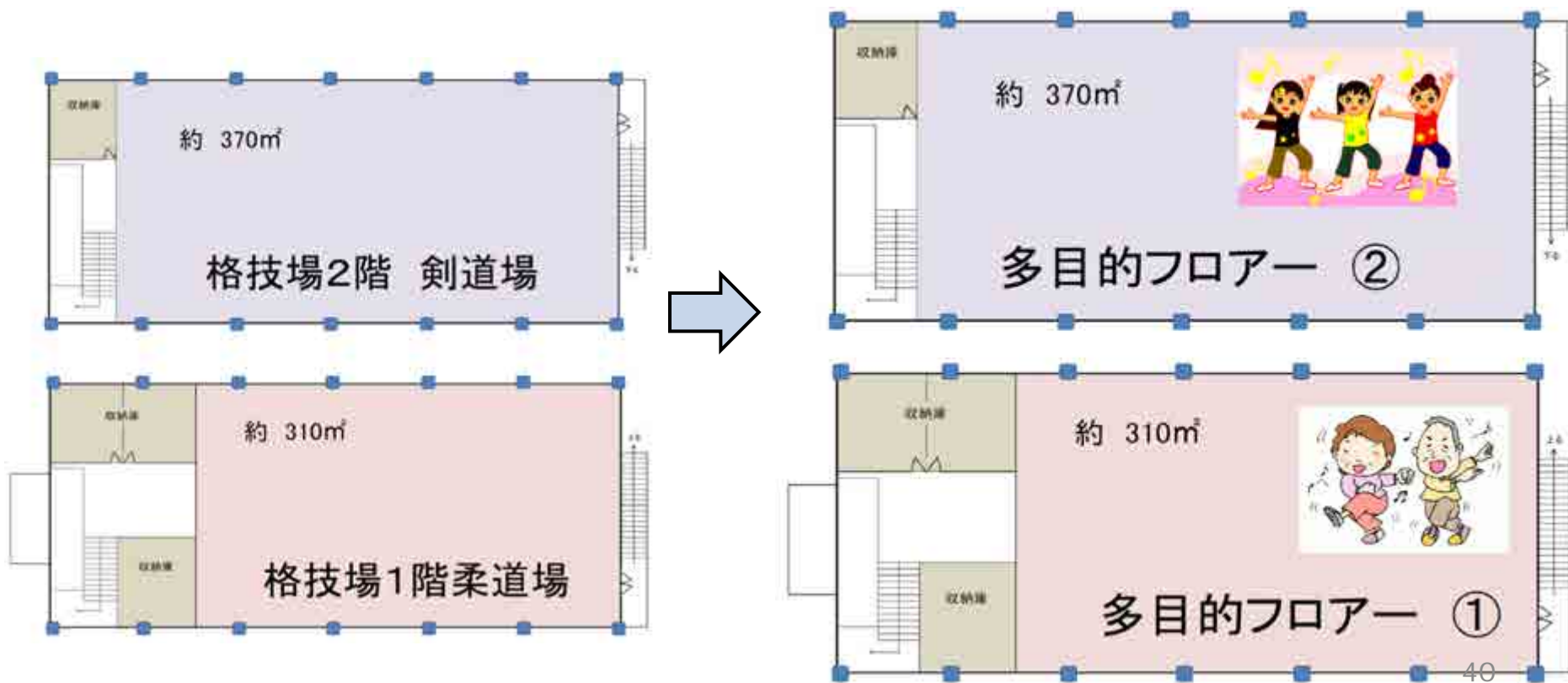
外トイレ

- きれいに整備します。トイレが汚いと人は来ない!

格技場の活用

- 改装及び空調設置・耐震補強により多目的フロアとして活用します。

- 使用するには、耐震補強が必要。武道場の需要は少ない。
- 300m²を超える空調付きフロアーは少ないので、需要は充分に見込める。
- 小・中規模の展示会やダンス会等、フクトピアの2Fと同様な使い方をイメージ。



千葦会館食堂にて 地産創作カフェ&販売

- ◆ 地産創作メニューコンテスト開催

⇒ グランプリメニューを提供



B級グルメを選定・出展

- ◆ ふじみ野産ブランドの製造&販売
- ◆ 朝どり新鮮野菜&果物などの販売



- ・ ふじみ野市をアピール
- ・ 障がいのある人の雇用創出
- ・ 都市農業の活性化&安全安心の食の提供



千葦会館食堂にて 食事の宅配サービス



高齢者や共働き家庭などへの家事支援サービス



独居老人の見守り
女性社会進出の手助け
雇用創出



の家事代行サービスも!!



交通・アクセス

校舎の北にある駐輪場を全て駐車場に変更する

⇒既存の教職員用駐車場と合わせて**200台**のキャパシティ(収容可能台数)

- ・新伊佐島橋(左岸、東側)から土手沿いに**1車線道路を整備**

- ・さらに、**市内循環バス**の路線変更

⇒ 東部コース線を

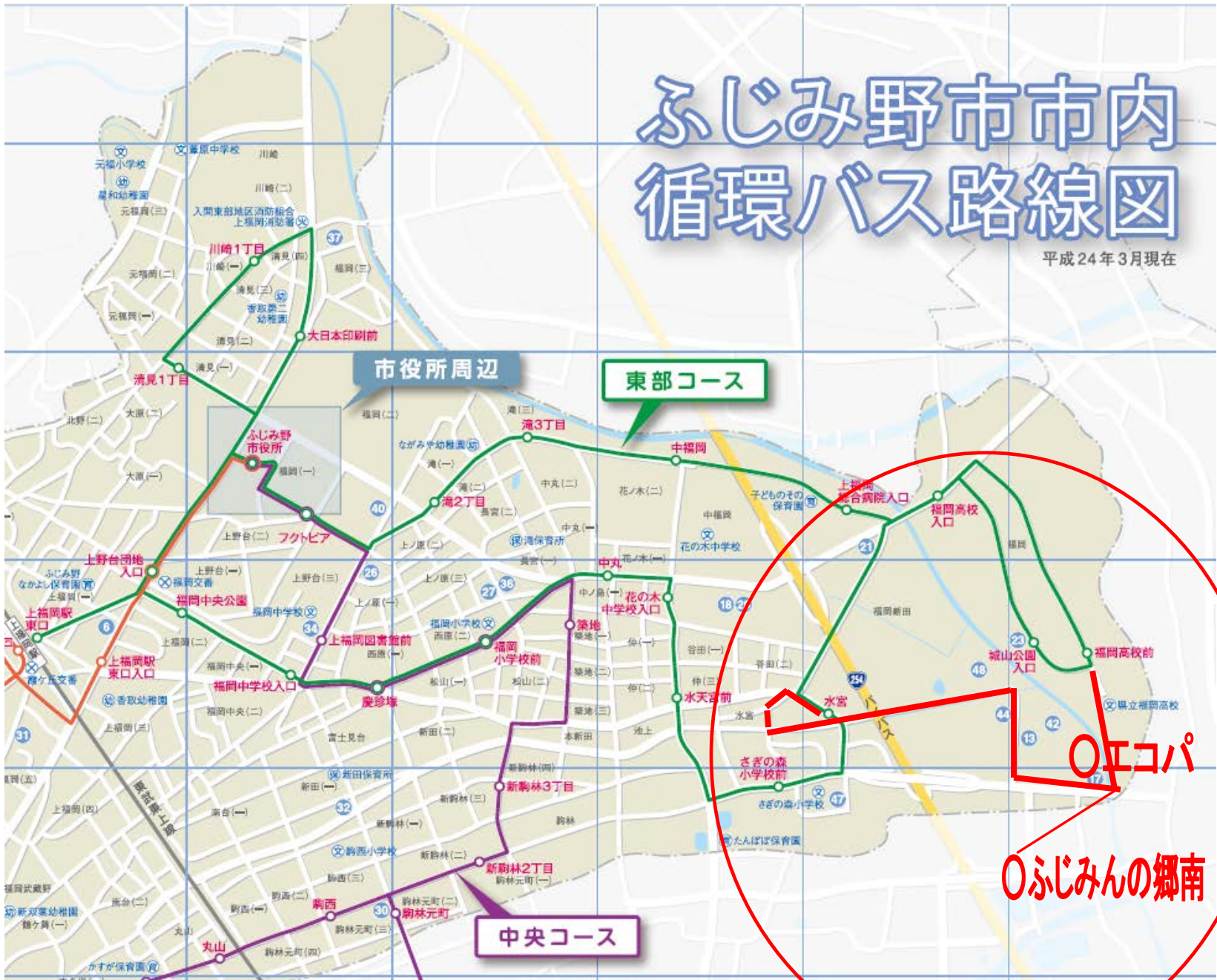
水宮-エコパ前-ふじみんの郷南-ふじみんの郷前-城山公園入口-ふじみんの郷入口

とし、**アクセシビリティ(来やすさ)の向上**を図る。

- ・オンデマンドタクシーの導入を検討する。

ふじみ野市市内 循環バス路線図

平成24年3月現在



コラボレーション(官・民・業連携)①

- 広域ごみ処理施設の余熱利用施設(エコパ)を運営するSPCとの協業(温浴施設・風呂が競合?駐車場の相互利用、利用者優待などなど)
- CCCと提携。利用すればTポイントが貯まるシステム。公共施設を利用してお得感を得られるのはここだけ!(将来的には、ふじみ野市図書館をツタヤ図書館にも一案?)

※Tポイントの導入コスト:加盟時55,000円、月々7,500円+関与売上の3%

コラボレーション(官・民・業連携)②

■CSV活動企業の誘致

Creating Shared Value ～共通価値の創造～

- ・これまでのCSRは、本質的に企業活動と背反(善行的CSR。自社の事業が社会に及ぼす悪影響の罪滅ぼし)
- ・これからのCSRは、**戦略的CSR(=CSV)**
- ・社会的な課題の解決と企業の競争力向上を同時に実現

将来的な構想(3年後)

- 新河岸川を利用し、昔の水運を体験するコース(養老橋～旧福岡高校まで)
- 新河岸川に橋を架けて、対岸の余熱利用施設や運動公園と行き来しやすくし、さらなる利便性の向上を図る。



人道橋(参考事例)

デザイン 未来政策のシンボルに
構造 鋼製アーチ



旧新河岸川

緩傾斜河岸整備等⇒子供たちが自然と出会う安全な水辺ゾーン

**ビオトープと雑木林
フィールドアスレチックゾーン**

フットサル場

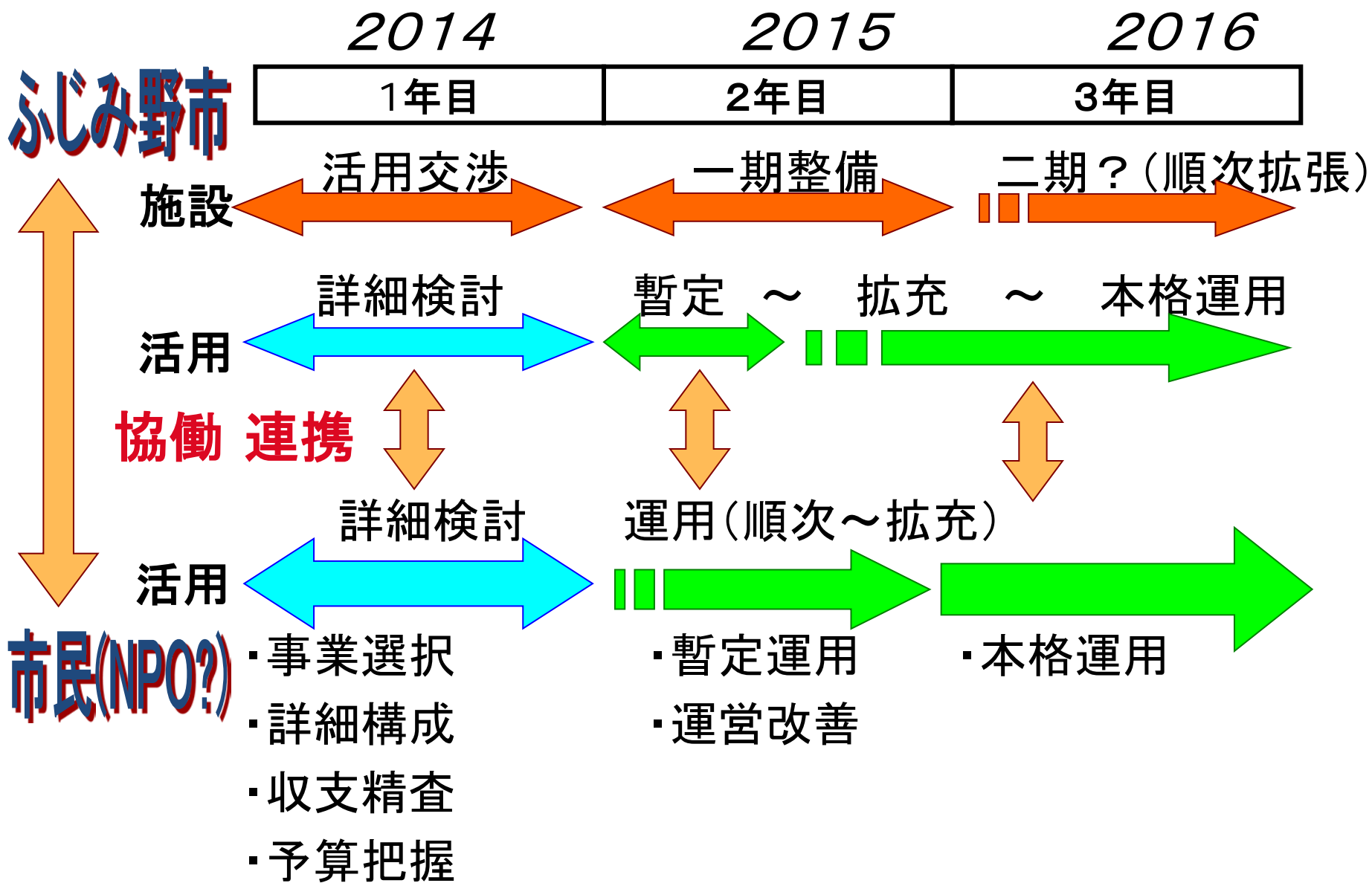
野球場

市民体育館

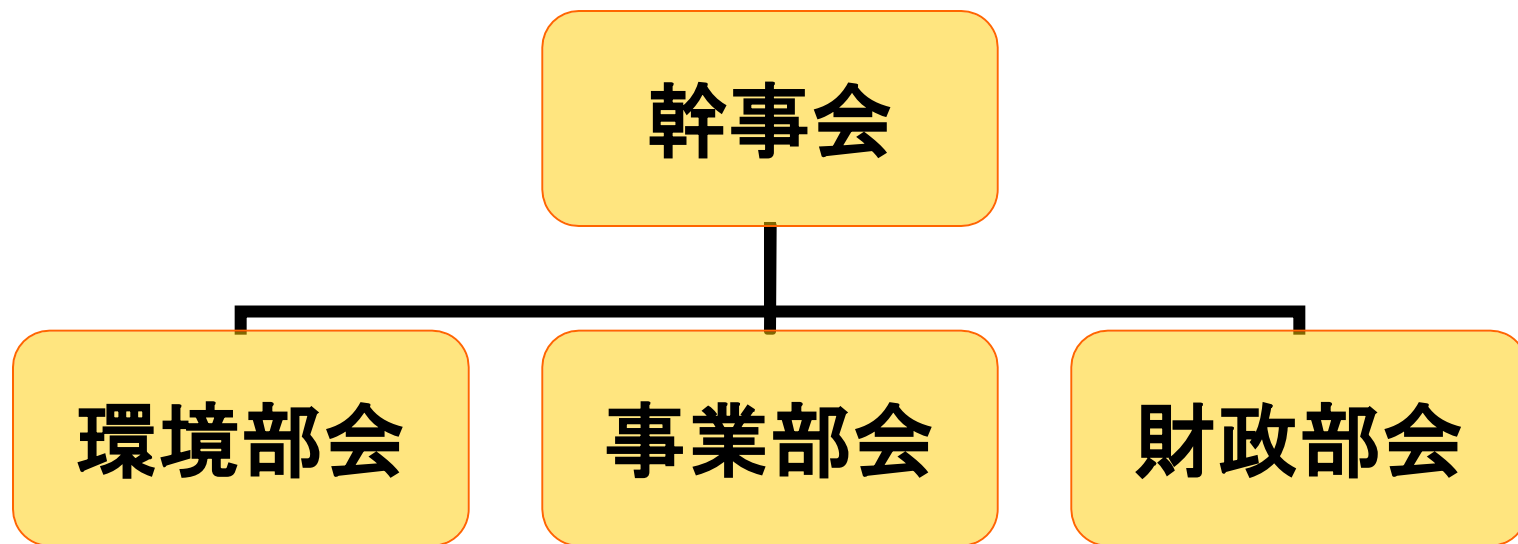
駐車場



工程表・・・誰が、何を、どう進めるの？



組織 …… 誰が、何を、どう進めるの？



- ・インフラ整備
(建築、設備、駐車場、道路、橋梁、造園等)
- ・許認可申請

- ・子育て、教育
- ・農、食、交流
- ・文化芸術活動
- ・スポーツ活動
- ・行政利用
(資料館、研修C)

- ・事業費統括
- ・資金調達
(会費、補助金、助成金、寄付金等)
- ・収支管理



**住み続けたい街、心の故郷
世代を超え、選ばれる街
市民一人一人が誇れる街**

みんなでスクラムを組んで実現しよう！

ご静聴ありがとうございました。

